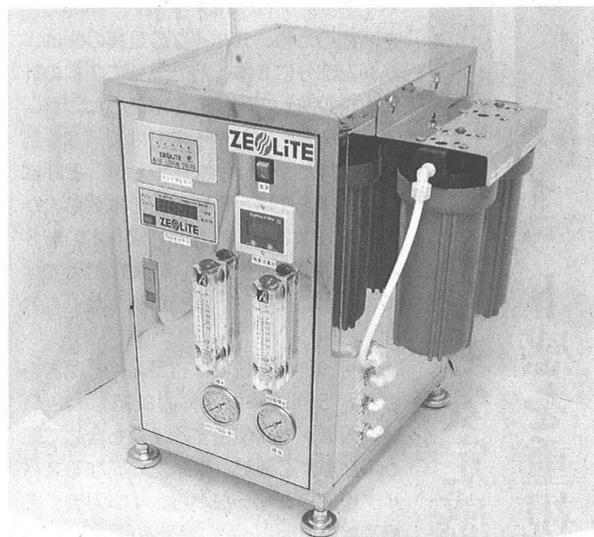


2015年5月15日(金)

産経新聞(九州版)に掲載されました。

グラス洗浄 水斑さようなら

式場やホテルなどに販売



開発のきっかけは、厨房機器メーカーから、グラス洗浄後に残る水斑の改善を依頼されたことだった。結婚式場やホテルでは、毎日長時間かけて、数百個のグラスを拭き上げ、水斑を取っている。また、繰り返し使用したグラスは白濁して

へ納入を目指す。

（津田大資）

買い替えが必要になる。同社が依頼し、福岡県工業技術センター（筑紫野

ゼオライトが開発した浄水器「クリスタルロゼット」

水処理企業ゼオライトが開発

市)が分析したところ、水斑の原因は、水や洗剤に含まれるカルシウムやマグネシウムなどで、白濁はケイ酸が引き起こしていた。

ゼオライトは「逆浸透膜」と呼ばれる網目が1千万分の1ミリの超微細膜を利用し、地下水や排水から不純物を除去する浄水事業に取り組んでいる。

この技術を応用し、水からカルシウムやマグネシウムを除去する「クリスタルロゼット」を開発した。食器洗浄機と組み合わせ、結婚式場でテストした結果、自然乾燥で水斑が残らなくなったという。

幅36センチ、長さ45センチ、高さ60センチとコンパクトで、従来の食洗機などの横に簡単に設置できる。拭き取り作業が省けるだけでなく、寿命も延ばせる。約1千個のグラスを所有するホテルの場合、年間200万円以上のコスト削減が可能になるといふ。

価格は5万〜70万円。ゼオライトは、厨房機器メーカーなどの共同販売や代理店網を全国に広げ、平成28年度以降、年1千台の販売を目標としている。